

重点施策（4つの活動の柱）

1. エネルギーコンサルティング

エネルギーコンサルティングの実働部隊としての「エネルギー何でも相談所」の業務と機能を拡充し、会員のエネルギーへの取り組みを具体的に支援する。

2. 会員への情報提供とネットワーキング

会員交流とネットワークの場として、会員がご自身の企業活動に活かせる知恵や情報が溢れるプラットフォームとしての機能を拡充する。

3. 調査研究と外部発信（シンクタンク機能）

「仮称）エネ経会議 研究所」を立ち上げ、エネルギーのみならず、地域の中小企業の視点での地域の経済循環や気候変動、脱炭素社会とそこでの地域の中小企業のあり方等に関する調査と研究を進め、その成果を会の内外に発信していく。

4. 他団体との連携/協力

下記の4つの友好団体を主に、それぞれの団体の活動や得意技を会員と共有し、会員がエネ経会議の枠を超えて他団体との関わりを拡げられるように、他団体との連携・協力を強化する。